

2学期が始まりました。

文責 学校長



～皆様のご協力で2学期をスタートさせることができました。～

1 文化祭は無観客で、体育祭も入場制限で実施する予定です。

本日から2学期が始まりました。午前中に**始業式**を行い（リモート開催）、武陵祭の準備・練習も月曜日から本格的に始まります。来週末の**9月5日(土)に文化祭、9月6日(日)に体育祭**の予定です。短い準備・練習期間ではありますが、感染拡大防止策及び熱中症対策を十分にとりながら準備・練習に取り組んでください。なお、新型コロナウイルス感染拡大の状況を踏まえ、県教委からも感染予防により一層の工夫した開催が求められています。一部の種目については、取りやめ・変更の検討をしている状況です。また、保護者・来賓の皆様のご参観については、感染症及び熱中症予防の観点から、現時点では、**文化祭は無観客で、体育祭は3年生の保護者様限定での参加に制限**する方向で考えています。ただ、今後の状況次第では更なる制限をする場合も考えられます。ご理解・ご協力の程宜しくお願いいたします。

2 家庭内での感染拡大防止にもご協力をお願いします。

～県内高校でも複数の感染者が出ています。～

8月に入り全国的な感染拡大状況（第2波）となり、県内においても児童生徒について複数の陽性者、多数の濃厚接触者が確認されており、県立高校においても陽性者が確認され休校にせざるを得ない事例も発生しています。そのほぼすべてが**家族もしくは親族が感染元**となっています。改めて家庭内での感染予防の徹底についても生徒・保護者の皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いします。



3 今週の話事成語・・・「死せる孔明生ける仲達を走らす」

【問題】死が間近に迫っていた諸葛孔明はどのようにして敵軍を退けることができたのか？

優れた人物は死んでも生前の威風を備えていて、生きている者を恐れさせるといふたとえ。
(出典：『蜀志』より)

【由来】『三国志』蜀書諸葛亮伝注。中国の三国時代、蜀（しょく）の**諸葛孔明**は五丈原で魏（ぎ）の**司馬懿仲達**と対陣しているときに病死したが、これを聞いた魏の軍勢は即座に追撃を開始した。ところが蜀軍は反撃の構えをとったため、孔明の死は謀略ではないかと恐れ、魏軍は退却したという故事にもとづく。「三国志」の物語の最後を飾る名場面、司馬懿は諸葛亮の好敵手でした。建興12年(234)、五丈原で敵と対峙しつつ死に臨んだ諸葛亮孔明は、司馬懿仲達の追撃を退ける**最後の策**を部下に授けて息絶えました。蜀軍が撤退を開始すると、予想通り司馬懿率いる魏軍が追撃を仕掛けます。ところがそこへ、諸葛亮の乗る車が現われると、計略を恐れた司馬懿は追撃を中止し、軍を退きました。実はその車に乗る諸葛亮は**木像**であり、**司馬懿は亡き諸葛亮にまんまと欺かれた**のです。(参考：「imidas」より)

4 今週の名言・・・野村克也氏(京都府出身)の言葉です。

○京都の片田舎にある無名校から、十把一絡げのテスト生として入団した私は、最初から努力以外にこの世界で生きる術はないと分かっていました。だから連日連夜、誰よりもバットを振りました。3年目でレギュラー、翌年にはホームラン王になれたのも猛練習のおかげです。

【解説】「王や長嶋はヒマワリ。私は日本海の手元に咲く月見草だ」との名言を吐き、王・長嶋選手に対する異常なほどのライバル心を支えとしてプロ野球で名実ともに二人に比肩する野球人として人生を野球界にささげた「**ノムさん**」こと野村克也氏の言葉です。テスト生から三冠王に輝く名選手、日本一の名監督になった野球界の巨星の名言です。

【野村克也について】元プロ野球選手・監督。南海(今のソフトバンクホークス)、ヤクルト、阪神、東北楽天の監督を歴任し、晩年は野球解説者・野球評論家・タレントとして活躍しました。選手としては、史上2人目の**三冠王**達成(世界のプロ野球史上初の捕手による三冠王)、選手出場試合数歴代2位、監督出場試合数歴代3位、通算本塁打数歴代2位(657本)、通算安打数歴代2位、通算打点数歴代2位、通算打席数1位(11970打席)、通算打数1位(10472打数)、通算犠飛数歴代1位(113犠飛)、通算併殺打1位(378打)、**ベストナイン19回受賞で1位**などの記録を持つ。また、監督としても「平成」期間の最多勝利記録(1,053勝)を保持する。

5 入試によく出る漢字・・・『一字訓ベスト400』から・その16 いくつか読めますか？

- | | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| ①念う (雑念) | ②顧みる (回顧) | ③窮まる (窮乏) | ④擬える (模擬) | ⑤詰める (詰問) |
| ⑥双ぶ (双壁) | ⑦享ける (享受) | ⑧慮る (遠慮) | ⑨闘う (戦闘) | ⑩訂す (訂正) |
| ⑪騙す (騙欺) | ⑫瞞す (欺瞞) | ⑬慨く (感慨) | ⑭延べる (延長) | ⑮陳べる (陳述) |
| ⑯震える (地震) | ⑰娛しむ (娯楽) | ⑱漂う (漂流) | ⑲跳ねる (跳躍) | ⑳食る (食欲) |

6 今週の一冊・・・彩瀬まるの『くちなし』（文春文庫）です。

別れた男の片腕と暮らす女。ある日、男の妻から意外な要求を受ける(「くちなし」)。運命で結ばれた恋人同士に見えるという幻の花(「花虫」)。鮮烈な才能をもった同級生への想い(「愛のスカート」)。幻想的な愛の世界を繊細かつリアルに描き絶賛を受けた、直木賞候補作にして、第五回高校生直木賞受賞作。全七篇。(参考：本書裏表紙説明より)

【解説】別れた愛人の左腕と暮らす「くちなし」。運命の相手の身体には、自分にだけ見える花が咲く「花虫」。好きな人が、ほかの女性のために作る「愛のスカート」。獣になった女は、愛する者を頭から食らう「けだものたち」。崩壊した家庭の妻が、少年を買う「薄布」。夫を亡くした妻が茄子色に髪を染める「茄子とゴーヤ」。皆が出産する世界で自分だけが生き残ってしまう「山の同窓会」。その7編の短編作品のいずれもが、我々の常識を超えた世界観です。その独特の世界観が高校生に支持され、第五回高校生直木賞を受賞したこの作品が文庫本化されました。こんな奇妙な設定の小説を呼んだのは安部公房の「棒」以来のように思います。まるでテレビドラマ「世にも奇妙な物語」を彷彿とさせる戸惑いと驚きと発見と様々な感情を交錯させながら読む一冊です。

【作者・彩瀬まる氏について】1986年千葉県生まれ。2010年『花に眩む』で第9回女による女のためのR-18文学賞読者賞を受賞し、デビュー。17年『くちなし』で第158回直木賞候補となる。18年、全国の高校生の議論により選ばれる第5回高校生直木賞受賞。著書に『あの人は蜘蛛を潰せない』『骨が彩る』『桜の下で待っている』『朝が来るまでそばにいる』『やがて海へと届く』など。ノンフィクション作品として、東日本大震災に遭遇した時のことを描いた『暗い夜、星を数えて 3. 11被災鉄道からの脱出』がある。(参考：本書表紙裏の著者紹介文より)

7 日本全県の名所とスイーツめぐり…第20回は京都府です。

○名所 (参考：「ぐる旅」その他より)

◆渡月橋(嵐山)・・・嵐山のシンボル渡月橋。川に架かる長さ155 m、幅11 m の木製の橋です。平安時代初期に亀山上皇が、月が橋を渡るように動いていく様を見て「くまなき月の渡るに似る」と述べたことがその名の由来です。穏やかに流れる桂川に架かる渡月橋とバックの嵐山とのコンビネーションは絶景で、桜や紅葉はもちろん一年を通して四季の美しさを感じることができます。嵐山・嵯峨野は見どころが多く、すぐ近くには世界遺産の天龍寺をはじめ、野宮神社・時雨殿・大河内山荘などがあり、おすすめグルメスポットも数多くあります。ちなみに、渡月橋の下を流れる川は行政上は桂川と統一されていますが、渡月橋を境に上流は大堰川、下流は桂川と名が変わります。

◆天の橋立・・・宮津市天橋立 展望所から股のぞきで眺めると天へかかる橋のように見え、絶景。日本三景の一つです。イナザギの命がイナザミの命のもとに、天から通うためにかけたという伝説が残る自然がつくり出した橋。約3.6 km の砂浜に約8000本の松などが茂り、神秘的な美しさを持つ。天橋立の中には船が通るたびに90度回転する珍しい廻旋橋などがあり、絶景を眺めながらのんびり散策できます。

○スイーツ・土産

【生八ッ橋】(聖護院ハッ橋総本店)「聖護院ハッ橋総本店」は、1689年、聖護院の地に創業した、京名物ハッ橋の老家本元。創業は元禄2年、今から331年前にさかのぼります。近世箏曲の祖・八橋検校の歿後、その墓参を欠かさない門弟たちに、参道の茶店にて琴の形に似せた干菓子を売り出しのが「ハッ橋」の始まりです。ほんのり甘いつぶあんを、ニッキの香りほのかな白い生ハッ橋と、香り豊かな抹茶生地で包み込み、詰め合せています。

【葛切り】(鍵善良房)京都祇園の江戸から続く甘味処「鍵善良房 本店」。喉ごしが良く上品な味のくずきりが有名な甘味処で、ほとんどの人がくずきをオーダー。かち割り氷の中に入れられたくずきを、濃厚だがさっぱりしている黒蜜の中につけて食べるのは至福のひとつです。つるりとして喉ごしが良く上品な味は、京都に来たら必ず味わいたいスイーツです。

8 保護者の皆様へ…武陵祭(文化祭・体育祭)の様子はケーブルワンで放映されます。

表面に書かせていただきましたように、今年の武陵祭の参観は制限をかけることになると思います。その代わりにSSP杯のように「YouTube」での生ライブ配信ができないか検討しましたが、ステージ発表の際の音源の著作権等の問題等もあり、こちらも断念しました。ケーブルワンの番組で後日放映される予定ですので、そちらをご覧ください。

【表面の問いの答】表面の【由来】をご参照ください。詳しくは吉川英治作『三国志』をお読みください。
①おもう②かえりみる③きわまる④なぞらえる⑤つめる⑥ならば⑦うける⑧おもんばかり⑨たたかう⑩ただす⑪だます ⑫だます⑬なげく ⑭のべる⑮のべる⑯ふるえる⑰たのしむ⑱ただよう⑲はねる⑳むさぼる